

新連載執筆のねらい

「キルケゴールで読み解く 21 世紀」

金子 昭

キルケゴールという思想家は、最も深い次元から人間存在を解明しようとした。実存や単独者の思想はいわゆる実存主義の先駆けとなったが、その徹底した時代批判や教会闘争を含め、彼の思想世界は 21 世紀に生きる我々に強く訴える使信を有している。彼はその著作において偽名と実名とを使い分け、またユーモアとアイロニーを駆使した。彼の著作は全体として、きわめて弁証法的でポリフォニックな構成になっており、我々はそこから発想のヒントを無限に汲み出していくことができる。宗教的信仰をめぐる問題は言うまでもなく、今日のグローバル化時代の諸問題、大衆社会や無縁社会など社会的諸問題、学問・芸術やその担い手としての大学のあり方、生命倫理や人間存在の危機、歴史認識や人類の未来論など、我々は数多くの課題を抱えている。それらの課題を、キルケゴールを手がかりに読み解いていきたい。



日台合同研究会ならびに聴き取り調査に参加

金子 昭

9月2日～6日、科研の共同研究グループとともに台湾に出張した。このグループは科研基盤研究(C)「日台韓における社会的孤立者に対する宗教者の伴走型支援活動に関する調査研究」(代表：宮本要太郎・関西大学教授)で、私も研究分担者の一人である。これまで各自で研究調査を続けてきたが、今回の台湾出張には全員が参加した。

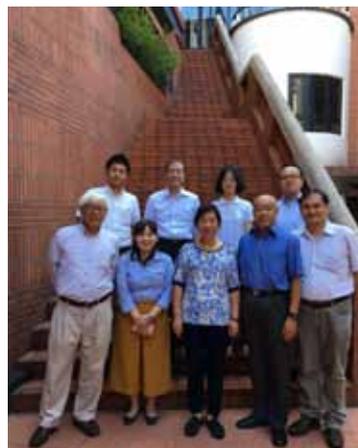
3日は中央研究院民族学研究所にて日台合同研究会を開催。台湾側から、慈済大学の林美容教授が「民間信仰研究の立場から考える台湾宗教」、中央研究院の黄約伯助研究員が「先住民のキリスト教」というテーマでそれぞれ報告。その後、日本側研究者が科研の課題テーマに基づいて個別発表、最後に全体討議を行った(以下、発表順)。

- ・村島健司(関西学院大学)「台湾における宗教の社会的活動と宗教関連法制度」
- ・宮本要太郎(関西大学)「臨床宗教師による『キュア』と『ケア』」
- ・金子昭(天理大学)「無縁社会における天理教の社会活動」
- ・白波瀬達也(桃山学院大学)「現代日本の移民の宗教と多文化共生」
- ・中西尋子(関西大学)「『民族の教会』から地域社会の問題に取り組む教会へ」
- ・渡辺順一(支縁のまち羽曳野希望館)「住居喪失者支援の課題－民間シェルター事業を通じて－」

この研究会の通訳は、発表者の一人の村島健司氏のほか、長年海外部に勤務し、現在は台湾に戻られている黄瓊宜氏にお願した。

翌4日午前は、台北駅付近でホームレス支援活動をしているキリスト教恩友中心の活動と礼拝を参与観察した。日本側研究者も炊き出しのお手伝いをした。また午後、キリスト教恩友

中心本部に移動して、創設者で現代表の李政孝牧師より自身のライフストーリー及び活動の概要のインタビューを行った。なおこの間、時間的に余裕があったので、私は宮本・中西両氏とともに社団法人玉蘭荘(台北市松年福祉会)を訪問、総幹事の高橋檀氏から現在の状況について説明を受けた。玉蘭荘は、日本語によるキリスト教系高齢者活動センターである。



中央研究院民族学研究所にて合同研究会後に記念撮影

この日、台風 21 号により関西空港が浸水被害を受けて閉鎖されたため、5日以降は、急ぎょ各自で振替便を取って帰国することになった。私も、5日は当初予定していた宗教施設訪問等を取りやめ、一日中その対応に追われた。結局、6日に成田空港行き振替便を確保することができ、この便にて帰国した。

日本宗教学会第 77 回学術大会に参加・発表

堀内みどり

標記大会が9月7日～9日にかけて大谷大学を会場に開催された。7日午後の公開シンポジウムは「ヒトと宗教」をテーマに、松沢哲郎・京都大学高等研究院特別教授が「死を悼む心の進化：チンパンジーによる死児の世話」の事例(ギニア・ボッソウのチンパンジー)を取り上げ、鷲田清一・京都市立芸術大学学長が、トラスト・クレジット、ピリーフなどのことばを通して、それぞれ考察した。前者の講演ではボッソウのチンパンジーが亡くした子どもを背負い続ける母親、姉・友だち・群れの死児との関わり方などが動画で示され、大きなインパクトがあった。8日・9日は個人研究発表およびパネル発表が14の部会に分かれて行われた。天理大学関係者の発表は以下の通り(部会順)。

- ・澤井義次:パネル「井筒『東洋哲学』の地平と宗教研究」代表者・コメンテータ
- ・渡辺優:「17世紀フランス神秘主義における十字架のヨハネ」
- ・深谷耕治:「天理よろづ相談所『憩の家』事情部と聖地『ぢば』」
- ・堀内みどり:「ぢばと“聖地”—天理教の救いについての一考察—」
- ・岡田正彦:「梵曆運動と宿曜道・仏曆一曆から見る近代仏教史—(パネル「曆を通して宗教史を語りなおす」)

「出前教学講座」申し込み受付

おやさと研究所では教区、教会などの単位で「出前教学講座」の依頼をお受けしています。

詳細は、担当者佐藤孝則(tasato@sta.tenri-u.ac.jp)までお問い合わせ下さい。